

川崎市市民ミュージアムのあり方等に関する答申骨子（案）について 【資料1】

【はじめに】

答申に至る経緯、博物館、美術館の必要性の見解、市民ミュージアムの現在の特殊な事情

【1 あり方検討部会の検討状況と答申の考え方】

- (1) あり方検討部会の検討状況（7回の検討概要、現地視察・市民アンケート、各種ヒアリング等）
- (2) 答申の考え方（博物館、美術館に整理）

【2 基本的な考え方】…第4～5回

あり方部会で検討

- (1) 本市に求められる博物館
 - 館固有の設置目的
 - 基本的な理念
 - 目指す姿
- (2) 本市に求められる美術館
 - 館固有の設置目的
 - 基本的な理念
 - 目指す姿

【資料2】
【資料3】
参照

【3 目指す姿に向けた取組み】

- <博物館>
- <美術館>

【4 施設の考え方】…一部について、第5回以降あり方部会で検討

(1) 現施設のあり方…第1回～第3回部会で議論済

- ・等々力緑地で収蔵庫だけではなく展示等を行う等の博物館、美術館の運営は難しい。
- ・被災リスクの少ない場所で、収蔵庫と展示室を同じ施設内に整備することが望ましい。
- ・新たな博物館、美術館は等々力緑地外で整備。

(2) 新たな博物館・美術館の立地条件

- ・被災リスク（水害だけでなく地震等含む）の少ない場所、利便性の良い場所等

(3) その他（規模感等）

- ・博物館、美術館 現施設は他都市と比較しても巨大のためコンパクト化をする等

【5 複合化について】…第5回以降

あり方部会で検討

- ・これまでの活動から、部会として一定の評価のうえ、複合施設で継続してよいのではないかとの意見等

【6 今後について】…第5回以降あり方部会で検討

○主な課題

基本計画や行政において今後整理すべき事項について答申

【7 参考資料】

- 諮問内容
- 審議経過
- 委員名簿
- 市民アンケート・各種ヒアリング結果